



令和6年8月29日

市政記者クラブ 様

経済局イノベーション推進部次世代産業振興課
担当：加藤（雅）・岩間 電話：972-2418

「Hatch Technology NAGOYA」課題提示型支援事業 に係る実証プロジェクトの決定について

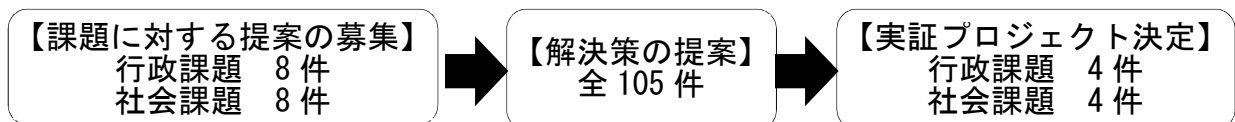
本市では、先進技術の有用性を広く周知するとともに、先進技術の研究開発や社会実装を促進するため、先進技術社会実証支援事業「ハッチ テクノロジー ナゴヤHatch Technology NAGOYA」を実施しています。このたび、課題提示型支援事業において実施する実証プロジェクトが決定しましたので、お知らせします。

記

1 事業概要（課題提示型支援事業）

庁内から集めた行政課題や社会課題（グリーン化及びDXの特別枠を含む）に対して、先進技術を活用した解決策を企業等から広く募集し、選定・決定した実証プロジェクトに対する費用の一部負担や、専門家によるマネジメント等の支援を実施するもの。

2 実証プロジェクト決定までの経緯



3 実施する実証プロジェクト ※概要は別紙参照

区分	課題名	実証事業者（所在地）	市担当部署
行政課題	ストレスを可視化して、職員のメンタルヘルス不調を未然に防止したい！	Zero To Infinity 株式会社 (東京都新宿区)	総務局 安全衛生課
	違法で危険な”盛土”を早期発見！衛星データやAIを活用し効率的に監視したい	株式会社 Solafune (沖縄県沖縄市)	住宅都市局 開発指導課
	交通事故ゼロの未来へ！新技術で実現する道路維持管理	株式会社スマートシティ技術研究所 (東京都文京区)	緑政土木局 道路維持課
	外国人のお客様も「みて、ふれて、たしかめて」ができる科学館へ！多言語対応を実現したい！	株式会社 Algomatic (東京都中央区)	教育委員会事務局 科学館 総務課
社会課題	持続可能な未来の水辺を楽しみたい！最新技術を使ってなごやの水辺の魅力を創出したい【グリーン化】	株式会社ダイイチ (三重県津市)	住宅都市局 名港開発振興課
	混雑予測でトイレ・飲食店の混雑を緩和し、ポートメッセなごやの満足度UPを目指したい【DX】	東海テレビ放送株式会社 (愛知県名古屋市)	観光文化交流局 MICE推進課
	地域活動に対する思いを可視化して、参加したくなる地域活動づくりへ！	株式会社はこぶん (東京都中央区)	スポーツ市民局 地域振興課
	データで自転車通行空間の効果と課題を可視化し、快適に走れるナゴヤへ	株式会社長大 (東京都中央区) チャリチャリ株式会社 (福岡県福岡市)	緑政土木局 自転車利用課

4 今後のスケジュール

令和6年8月～令和7年2月 実証に向けての調整、実証実施、結果取りまとめ
令和7年3月 成果報告

※今後、各プロジェクトの進展状態に合わせて随時プレスリリースを行ってまいります。その際は取材をぜひお願いいたします。

5 取材依頼

下記の課題につきましては、9月6日にキックオフミーティングを行います。担当部署による課題の説明や実証事業者による実証内容の説明、実証実験予定場所の見学を行います。実証事業者に直接取材できる機会ですので、ぜひお越しください。

課 題	外国人のお客様も「みて、ふれて、たしかめて」ができる科学館へ！ 多言語対応を実現したい！
担当部署	教育委員会事務局 科学館 総務課
実証事業者	株式会社 Algomatic
日 程	令和6年9月6日（金） 13時～14時30分
場 所	名古屋市科学館 名古屋市中区栄二丁目17番1号
内 容	・担当部署による課題の説明 ・実証事業者による実証内容の説明 ・名古屋市科学館の見学 ・その他の実証プロジェクトに関する説明

取材いただける場合は、9月5日（木）正午までに、次世代産業振興課宛てにご一報ください。

また、ご要望に応じて他の実証プロジェクトに関しても取材の場を設けますので、ご希望がございましたら、次世代産業振興課宛てお問い合わせください。（電話：972-2418）

8 その他

事業の詳細については、ウェブサイトをご参照ください。
(<https://www.hatch-tech-nagoya.jp/solution/>)



※名古屋経済記者クラブに同日提供

行政課題

ストレスを可視化して、職員のメンタルヘルス不調を未然に防止したい！

○担当部署

総務局 安全衛生課

○解決したい課題

メンタルヘルスに不調をきたす職員が右肩上がりに増えている。職員向けの研修や相談会を実施するものの、目に見える効果は表れていない。

○実証事業者

Zero To Infinity株式会社

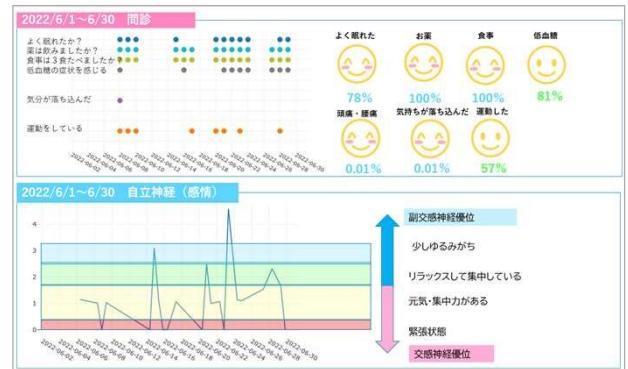
CEO 佐川亜希

所在地：東京都新宿区

<https://www.zti.co.jp/>

○実証内容

AIカメラを活用してストレス状態を職員自身が客観的に把握し、セルフケアを実践することで、メンタルヘルス不調の未然防止に取り組む。



行政課題

違法で危険な“盛土”を早期発見！
衛星データやAIを活用し効率的に監視したい

○担当部署

住宅都市局 開発指導課

○解決したい課題

市内において違法で危険な盛土等が発生していないかを効率的に監視したい。

○実証事業者

株式会社Solafune

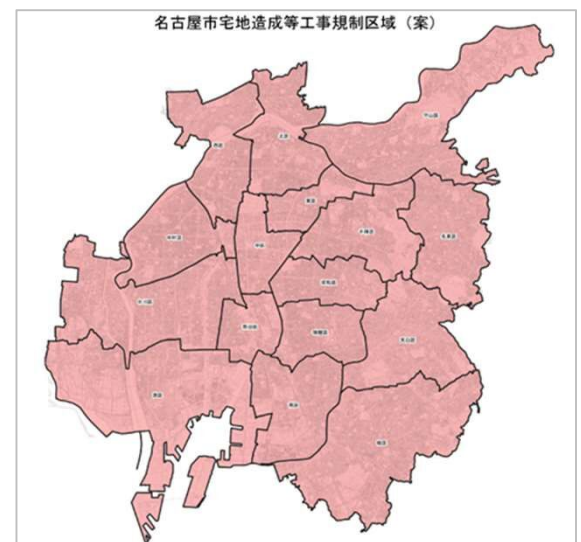
代表取締役CEO 上地 練

所在地：沖縄県沖縄市

<https://company.solafune.com/>

○実証内容

衛星データや航空画像等を使用し、盛土又は盛土の可能性のある地点等を抽出。その結果を基に盛土の検出プログラムを作成するとともに危険性に関する解析等を行い、盛土パトロール業務の効率化に資するか検証する。



行政課題

交通事故ゼロの未来へ！新技術で実現する道路維持管理

○担当部署

緑政土木局 道路維持課

○解決したい課題

道路に設置した区画線や路面標示などの劣化状況を効率的に把握し、計画的かつ効果的な修繕に活用したい。

○実証事業者

株式会社スマートシティ技術研究所

代表取締役社長 趙 博宇

所在地：東京都文京区

<https://www.smc-tech.com/>

○実証内容

スマートフォンの機能を利用した道路点検技術を使って区画線の種類、塗布延長、劣化状況等のAI自動検出に取り組む。



行政課題

外国人のお客様も「みて、ふれて、たしかめて」ができる科学館へ！多言語対応を実現したい！

○担当部署

教育委員会事務局 科学館 総務課

○解決したい課題

近年、名古屋市科学館には多くの外国人の方々が来館しているが、展示及び実演・実験における多言語解説が十分でない。

○実証事業者

株式会社Algomatic

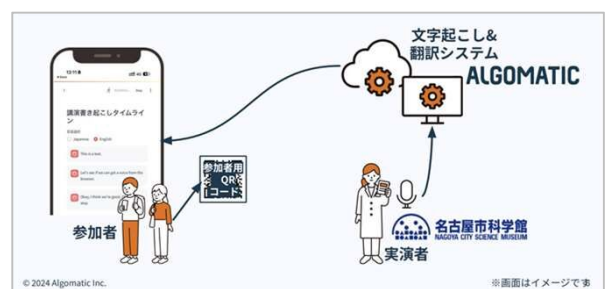
代表取締役CEO 大野 峻典

所在地：東京都中央区

<https://algomatic.jp/>

○実証内容

リアルタイム文字起こしと翻訳機能を活用し、実演・実験メニューの多言語化や展示の解説動画を機械翻訳することで、提供価値向上に資するか検証する。



社会課題【グリーン化】

持続可能な未来の水辺を楽しみたい！最新技術
を使ってなごやの水辺の魅力を創出したい

○担当部署

住宅都市局 名港開発振興課

○解決したい課題

CO2の排出を抑え、振動や騒音を低減させ、よりよい乗船体験を提供したい。なごやの水辺に新しい体験や付加価値を提供したい。

○実証事業者

株式会社ダイイチ

代表取締役 服部 奈緒美

所在地:三重県津市

<https://www.wan-wan.co.jp/>

○実証内容

船舶用電動推進器を使用してCO2削減、騒音低減課題の解決を行いながら、中川運河、堀川の水辺の魅力を楽しむにぎわいづくりに資するか検証する。



名古屋市で運営しているクルーズ船の化石燃料使用推進器(エンジン)をゼロカーボンである電動推進器に置き換えるための実証実験を行う



社会課題【DX】

混雑予測でトイレ・飲食店の混雑を緩和し、ポートメッセなごやの満足度UPを目指したい

○担当部署

観光文化交流局 MICE推進課

○解決したい課題

ポートメッセなごやにおける大規模催事開催時の一部トイレ
や飲食店での混雑を施設内及び施設周辺に分散させたい。

○実証事業者

東海テレビ放送株式会社

代表取締役社長 小島 浩資

所在地:名古屋市東区

<https://www.tokai-tv.com/>

○実証内容

独自のビーコンを活用した混雑把握や人流解析とサイネージなどでの告知によりポートメッセなごやのトイレや飲食店の混雑回避に取り組む。



社会課題

地域活動に対する思いを可視化して、参加したくなる地域活動づくりへ！

○担当部署

スポーツ市民局 地域振興課

○解決したい課題

様々な地域住民の声を集めて可視化し、みんなが参加したくなる地域活動につなげたい。

○実証事業者

株式会社はこぶん

代表取締役 森木田 剛

所在地: 東京都中央区

<https://hako-bun.com/>

○実証内容

コミュニティの本音を収集・AI感情分析するツールを通じ、名古屋市民の地域活動に対する声を広く収集・分析することでニーズや課題が把握できるか検証する。



顧客の小さな声を、ビジネスの大きな力に
ホンネPOST
本格的なVOC分析を、誰でも簡単に

手間と時間がかかる VOC(Voice of Customer)施策を一気通貫でご支援します

デザインからこだわる 顧客接点づくり
顧客の「言いたい」から キンネを自然に引き出す
AI感情分析で 隠れニーズ/課題を見える化
アフターフォローで 離脱改善/ファンづくり

社会課題

データで自転車通行空間の効果と課題を可視化し、快適に走れるナゴヤへ

○担当部署

緑政土木局 自転車利用課

○解決したい課題

自転車通行空間の効果検証として、従来型の交通量調査では測定しきれない自転車の利用状況を可視化したい。

○実証事業者

株式会社長大/チャリチャリ株式会社

代表取締役社長 野本 昌弘(長大)

所在地: 東京都中央区(長大)

<https://www.chodai.co.jp/> (長大)

○実証内容

シェアサイクルのGPSデータと観測調査結果を融合活用し、自転車通行空間整備前後の利用状況(利用量、分担率等)の変化を把握できるか検証する。

